

平成 31 年度 学校教育計画及び学校評価

I めざす学校像

建学の精神

「奉仕のこころ」

- 1 「For Others～奉仕のこころ～、志高く。」（建学の精神の再確認）
- 2 「10 年後の私たちのために」 将来の予測不能な社会を生き抜くことのできる人材づくり

教育目標、めざす生徒像

- 1 思いやりや感謝の気持ちや「奉仕のこころ」などを素直に表すことのできる高い人間性の育成
- 2 基礎学力を十分に積みあげた上で、自分の頭で課題や問題に向き合うことのできる思考力・判断力の育成
- 3 部活動や学校行事などに努力し共に励まし喜びを分かちあえる豊かな心と健やかな体の育成
- 4 個々の生徒の個性や能力や特性に合わせ、生徒の力を最大限に伸ばし、生徒・保護者に「行きたい・通わせたい」と思われる学校づくりをめざす。

II 中期的目標

- 1 基礎学力の充実から自ら考える力へ 「授業第一主義」
 - (1) 基礎学力の充実と「主体的・対話的で深い学びへ」
 - ア 授業学力の充実として宿題・課題とその定着確認を日々行う。また、自習室の設置や放課後、長期休業中の学習促進を図る。
 - イ 「主体的・対話的で深い学び」のために ICT 教育やアクティブラーニングを推進する。
※ 学校教育自己診断で「授業が分かりやすく学習習慣がしっかりと身につく授業が行われているか」を平成 30 年度は昨年度比 5 ポイント上げる。
 - ウ 各コースの目標を設定する。積極的に資格、検定を取得させる。また、進学・特進コースは模試による学力チェックや英語力の向上を図る。
・ 一部コースの選択分野を広げ、生徒の可能性を最大限に育成する新コースの設置準備を行う。
※ 学校教育自己診断で「生徒が資格（英検・漢検など）取得できるように、熱心に取り組んでいる。」を平成 30 年度は昨年度比 5 ポイント上げる。
・ 全てのコースで生徒の基礎学力および応用的な学力向上のための取組みを積極的におこなう。
 - (2) 知・徳・体のバランスの取れた教育と豊かな人間性の醸成 「生徒指導なくして学習指導なし」
 - (1) 授業に集中できる学習環境、授業規律や生活習慣の改善
 - ア 時間の厳守、挨拶、身だしなみを整えさせる。予鈴の実施で「ベル始業」を徹底させる。
※ 学校教育自己診断で「日頃から日常生活のマナーや社会人のルールを守るように取り組んでいる。」を平成 30 年度は昨年度比 5 ポイント上げる。
 - (2) 人権意識の醸成
 - ア 人権研修（生徒向け、教職員向け）の実施（差別、ハラスメント、SNS、いじめ等多様な人権教育の指導）
- 3 学び連携できる教員集団
 - (1) 授業力向上の取組み
 - ア 相互授業見学や研究授業・研究討議で授業力向上に努める。また、積極的に外部研修や外部視察を行い、授業力向上の方法や学校運営方法などを学ぶ。
 - イ 若手教員研修の定期的実施
 - (2) 各種研修の実施
 - ア 高大連携や新学習指導要領や e ポートフォリオなどの研修や人権関係や服務などの研修を実施する。
 - (3) その他
 - ア 「チーム昇陽」の構築…組織運営の意識を持つ。小会議やミーティングやケース会議の実施。
 - イ コンプライアンス（法令遵守）を徹底させる
 - ウ ホームページの充実（記録、更新の促進）

Ⅲ 本年度の取組み内容及び自己評価

	今年度の重点目標	具体的な取組み計画・内容	評価指標	自己評価
1 基礎学力の充実から自ら考える力へ	ア 基礎学力の充実 イ「主体的・対話的で深い学び」の実践 ウ 各コースの目標設定・取組み	・宿題・課題とその定着確認 ・自習室の設置 ・「すらら」やドリル教材による学び直し（高1） ・放課後、長期休業中の講習の充実 ・朝のHRに朝読と朝テスト ・ICT教育やアクティブラーニングのための施設整備と研究授業実施 ・朝読の充実 ・ベルリッツ導入による2技能強化 ・英検、GTECの充実 ・英検、数検、漢検の受検促進 ・特進、進学コースの進路実現 ・進路決定率を高める ・就職・公務員希望者の進路実現 ・模試による学力評価 ・パティシエコースに製菓衛生師資格取得へ ・福祉コースの進路実現 ・中学校において英検・漢検・数検を更に受験させ、実績を上げる。 ・放課後、昇陽塾を開き、個々の生徒の学力に応じた指導をおこなう。 ・新コースの設置準備を行う ・各コースのカリキュラム変更準備	・学校教育自己診断での生徒の「授業関係」肯定的評価5%上げる。 ・講習の開講日数および参加者数 ・ICT教育関係施設整備状況と研究授業実施状況 黒板からホワイトボードへ ・ICT機器の導入 ・朝読の定着率50%以上 ・英検等受験者数 ・「産近甲龍」「関関同立」合格者数 ・就職希望内定率を上げる ・公務員試験合格率60%以上 ・介護福祉士国家試験合格率70%以上 ・中学校英検等、昨年度以上 ・学校教育自己診断での「進路指導」関係評価5%上げる。	

2 知・徳・体の教育と豊かな人間性の醸成	ア 授業に集中できる学習環境と授業規律 イ 人権意識の醸成 ウ 学校行事や地域ボランティア、部活動指導の活性化	・生徒による挨拶運動の実施 ・予鈴や入室指導の継続 ・遅刻指導の実施 ・通学指導の実施 ・生徒、教職員向け人権研修の実施（SNS、ハラスメント等の研修） ・強化クラブの充実	・週1回生徒会、部員による挨拶運動実施 ・教員による入室指導後ベル始業の徹底 ・学校教育自己診断「生徒指導関係」肯定的評価5%上げる ・<u>遅刻件数を昨年度比30%減少</u> ・強化クラブの全国レベル大会出場	
3 学び連携できる教員集団	ア 授業力向上の取り組み イ 各種研修会の実施 ウ その他	・授業公開週間の設定 ・先進校訪問の継続 ・授業アンケートの実施 ・各教科・科目のシラバスの充実 ・若手研修会「雛士」の定期的実施 ・夏季休業中の外部研修受講 ・各種研修会（人権、高大連携、新学習指導要領など）実施 ・分掌等再編（教職員の学校運営参加意識の醸成） ・学校ウェブサイトの充実	・各取り組みの実施状況 ・観点別評価の導入 ・若手研修2か月に1回 ・外部研修5人以上参加 - 学校ホームページの更新状況	